

吉田 耕一 議員
新政会



支出抑制のため、民間でできることは徹底して民間に任せるべきでは

大胆な支出抑制策を講じるた

め、官より民間の方が、コスト、サービス、スピード面で優れている分野は徹底して、民間に任せるべきでは。

A 限られた財源・人員の中により増大する市民ニーズに対し、安定的かつ継続的に市民サービスを提供するためには、さまざまな方式により民間活力を有効に活用する必要があると考えています。

民間活力の導入については、行政の責任の確保、適正なサービス水準の維持・向上などを総合的に勘案しながら推進すべきものと考えています。

(市長)



Q 規格葬儀の利用プランについて聞くとともに、経済的な理由で直葬せざるを得ないことがないよう制度の周知徹底を求める。

A 規格葬儀とは市営葬祭の廃止に当たり、市が定める一定規格の葬儀内容及び安価な統一料金で家庭や地元から故人を送り出すことができるよう、葬儀場所を限定して執り行う葬儀のことです。Aプランは市営葬祭の流れを受けた標準葬で10万円。Bプランはご遺体を火葬することを主眼に、祭壇が無い略式葬で5万円となっています。

ホームページや市民課窓口でチラシを備え付けていますが、今後は広報での周知や坂出市地区衛生組織連合会での周知を検討しています。

(市民生活部長)

規格葬儀の周知徹底を

出田 泰三 議員
市民の声



景観を生かしたまちづくりを

Q 旧港務所を改修保存し、「港町坂出」再生に向けてのシンボルとして残すべきだと考えるが今後の方針は。

A 旧港務所につきましては、歴史的な建造物として市内外から多くの関心を集め、高く評価されています。貴重な観光資源として維持するための修繕が必要になるものと認識していますが、耐震強度、外装内装の改修を行うには多額の経費を要します。

築80年以上の「港町坂出」のシンボルともいえる旧港務所については、これからも市民に親しまれ、県内外から多くの皆様に興味をもつていただけるよう、魅力を発信する拠点施設として、適切な維持管理をしていかなければならぬものと考えています。

(副市長)

新庁舎のトイレの整備について

Q 大規模災害時の一時避難者(特に女性)への対応について、また、トイレス使用に関するLGBTへの本市の配慮は。

A 大規模災害発生時に電力供給が停止しても、新庁舎西側トイレに使用可能な排泄物処理袋の備蓄も予定しております。女性の一時避難者用トイレの確保につきましては、プライバシー等に配慮した上で、簡易トイレの使用や、男子用トイレの一時転用を含めて対応していくないと考えています。

また、LGBTの方への配慮につきましては、各フロアの多目的トイレを男女トイレの手前に配置することにより、抵抗なく利用しやすくなるような設計をしています。

(総務部長)

質問の主な項目
・坂出港の有効活用と活性化について
・市民ホールの休館について
・公共交通の不便地域における対策について